

電源容量：12V 10W（断裁機により1ヶ使用と2ヶ使用の物がございます）

電球表面には耐熱塗料にて赤色に塗布してあります。

電球のフィラメント寿命：1000時間

※ 電動断裁機の場合、切れない刃物で紙を切ったり、硬い紙を切ったりしますと機械自体に振動が加わりますので、通常寿命より短くなる事が考えられます。

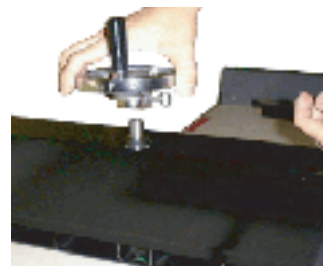
赤ランプ交換方法

1



紙押えハンドルのとめネジ（白いネジ）を緩めます。この時、紙押えは最大限上に上げておいて下さい。

2



紙押えハンドルを上には抜きます。

3



カバー止めネジ（左右に2本あります）を付属のドライバーにて外します。

4



カバー両側を手で持ち、カバー（黒）を外します。この時、安全アクリルカバーは、上に上げておいてください。

5



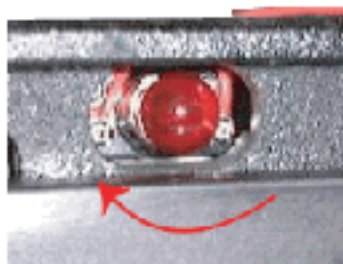
上記の様な状態になります。赤ランプ交換は、必ず電源をかならず切った状態で作業して下さい。動作後はランプが大変熱く、やけどをする恐れがありますので、数分待ってから作業して下さい。

6



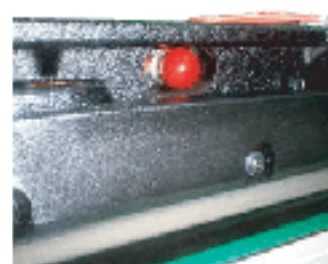
赤ランプを指で押しながら、反時計回してしてください。赤ランプが外れます。

7



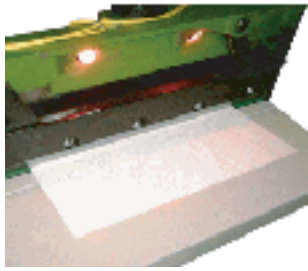
新しい赤ランプを指で押しながら、時計回りに回して取り付けてください。

8



カバーを取り付ける前に電源を入れ、ランプの点灯をご確認ください。まれに接触不良で、点灯しない場合が考えられます。その場合はランプを一度取り外し再度、取り付けてください。

9



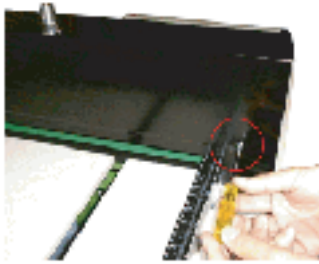
赤ランプはフィラメントの位置が重要になり、赤いラインが裁断位置に届かない場合がございます。

10



その場合は、上写真のランプ取り付け板をプラスドライバーにて緩め、赤ランプの位置（前後方向）を調整して、紙押さえと刃物のスキマから、カッティングラインが通る様に調整してください。

11



カバーを取り付け、カバー取り付けボルトを左右2本締めます。

12



紙押さえハンドルを取り付けて下さい。

※通常、電動断裁機は、キースイッチをONの状態にて赤ランプが点灯の状態になります。使用後は、必ず電源スイッチをお切りください。

（切り忘れ時には、赤ランプが点灯したままになっておりましますので、100V電球とは違い、長時間のつけっぱなしの際にはかなりの高温になります。）